

塾長による学校での出張授業内容②

一生勉強、一生青春

一学校の勉強は全教科すべて役に立つ、一生役に立つ。

教科外の活動もすべて役に立つ、一生役に立つー

開倫塾

塾長 林明夫

Q：学校での教科外の教育活動も役に立つのですか。

A：(1)入学式、卒業式、各学期の始業式や終業式、体育祭、文化祭、修学旅行、芸術鑑賞、学級会活動や生徒会活動、職場体験(インターンシップ)、各種講演会などすべて役に立ちます。

(2)社会で必要な礼儀・作法、いろいろなお話をお聞きすること、集団行動、チームワークなどを学ぶことができます。

(3)教科外の様々な知識を得、貴重な体験をすることもできます。

＊日本の小学校・中学校・高校の最大の特長の1つは、このような教科外の教育活動の質の高さ、レベルの高さです。他の国に類を見ません。

Q：部活動やクラブ活動も役に立つのですか。

A：(1)学校で授業以外に特定のスポーツや芸術・文化活動に指導料や設備費など「無料」で参加できる日本は幸せです。

(2)なぜなら、多くの国では、日本の学校の部活動のような本格的なスポーツや芸術・文化活動は学校外で行われ、参加を希望する場合には多額の費用を支払わなければならないからです。

(3)ちょっと前置きが長くなりましたが、そのくらい日本の学校で学ぶ子どもたちは大切にされているということです。

・部活動で得られるのは、①「練習は不可能を可能にする」という基本的な精神、②「フェアプレー」の精神、③「よき友」、この「3つの宝(物)」です。

・もちろん、体力や気力、ガッツ、やり抜く力、リーダーシップ、チームプレイ、コミュニケーション力も身に着きます。これらはすべて、上級学校でも、社会に出てからも、とても役に立ちます。

Q：ところで、現代はどのような社会ですか。そこで求められる能力とは何ですか。

A：(1)現代は「知識基盤社会」、つまり「知識が基盤になった社会」です。そこで求められるのは、「知識・情報・技術をうまく組み合わせて用いる能力」です。とりわけ、ワード・エクセルなどコンピューターのスキルは必須です。数学は高校3年生までしっかり勉強してく

ださいね。

(2)現代は「グローバル化社会」です。そこで求められるのは、「多様な集団で交流する能力」です。とりわけ、「英語によるコミュニケーション能力」は必須です。日本や世界各国の地理・歴史・社会の仕組みの「理解」、つまり中学校・高校の社会科は全科目必須です。日本語の深い「理解」のみならず、日本文化・芸術・古典の「理解」、つまり現代国語と古文、漢文の「理解」は必須です。

(3)現代は「課題山積社会」です。この課題解決のために生物・物理・化学・地学(地球科学)の知識、つまり中学校・高校レベルの科学(理科)の全科目は必須です。

Q：中学校・高校時代に身に着けておいたほうがよいことは何ですか。

A：(1)「効果の上がる学習方法」です。社会に出てからも学ばねばならないことは山ほどあります。その度ごとに、どのように勉強したらよいか悩んでいたのでは、勉強は少しも進みません。中学校・高校時代に「学習方法」を身に着けてくださいね。

＊「学習の 3 段階理論」は、学校だけでなく、社会に出てからも役に立ちます。開倫塾の皆様は、塾生である間にしっかり身に着けてください。

(2)「テストの受け方」も大切です。社会に出てからも、テストはたくさんあります。難しい仕事であればあるほど、毎年のようにテストがあります。その度ごとに、テスト対策はどうしようなどと悩んでいたのでは、テストに合格することは難しい。学校時代にテストの受け方を身に着けてください。

＊テキストや問題集の選び方、過去問の勉強の仕方なども、学校時代に身に着けてくださいね。

(3)「ノートの取り方」「メモの取り方」と「ノートの活用の仕方」も身に着けましょう。

＊「仕事はメモで身に着ける」といわれるほど、「メモ」は大切です。学校の授業中に大切なことはノートに取り、授業後は「ノート整理」をし、テストに備えて「ノートに取ったことはすべて身に着ける」。これは、仕事の上で大切なことはすべて「メモ」を取り、「メモを整理」し、「メモをすべて身に着ける」ための素晴らしい「予行練習」となります。

＊「授業中に大切なことはすべてノートに取ること」「ノートを整理し、すべて身に着けること」は、極めて高度な言語能力です。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)ただし、最も大切なことは「健康第一」です。「身体健康」と「心の健康」を大切にしてください。

(2)身の周りにいる方々の素晴らしさ、友達の素晴らしさ、学校や地域の素晴らしさ、日本やアジアの素晴らしさをたくさん見つけ、みんなで力を合わせてどんどん伸ばしていきましょう。同時に、自分の素晴らしさを自分の力で 1 つでも多く探し、誰に遠慮することなく、自分の力でどんどん伸ばしてくださいね。

(3)そのためには、「一生勉強、一生青春」のことば通りに学校でも社会でも学び続ける、一生学び続けることです。「教育ある人とは学び続ける人、一生学び続ける人」だと考えます。